

議会だより **せら**



■今号の主な記事

- インフォメーションセンター(仮称)土地購入費可決 … 2~3
- 報告します 委員会は今 … 4~5
- 視察研修報告 … 6
- 動き始めたインフォメーションセンター(仮称) … 7
- 請願・陳情 … 8
- 提出議案等の採決結果 … 9
- ズバリ **町政の課題** 13議員35問を質す … 10~23
- 元気な人紹介 … 24

**次は
ぼくだよ!**

No.36 平成26年1月15日発行
メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

土地購入費可決

平成25年第4回定例会

第4回定例会は12月9日から19日まで開会した。議案22件、報告1件、陳情16件、発議4件を審議した。

一般質問は、13人が35項目にわたり施政を質問した。

一般会計補正予算

補正予算は補正予算審査特別委員会を設置し審査した。その結果インフォメーションセンター（仮称）の土地購入費を含む補正予算歳入歳出1億3450万円を賛成多数で可決した。

指定管理者を選定

世羅町公おのやけの施設における指定管理者を、次のとおり議決した。

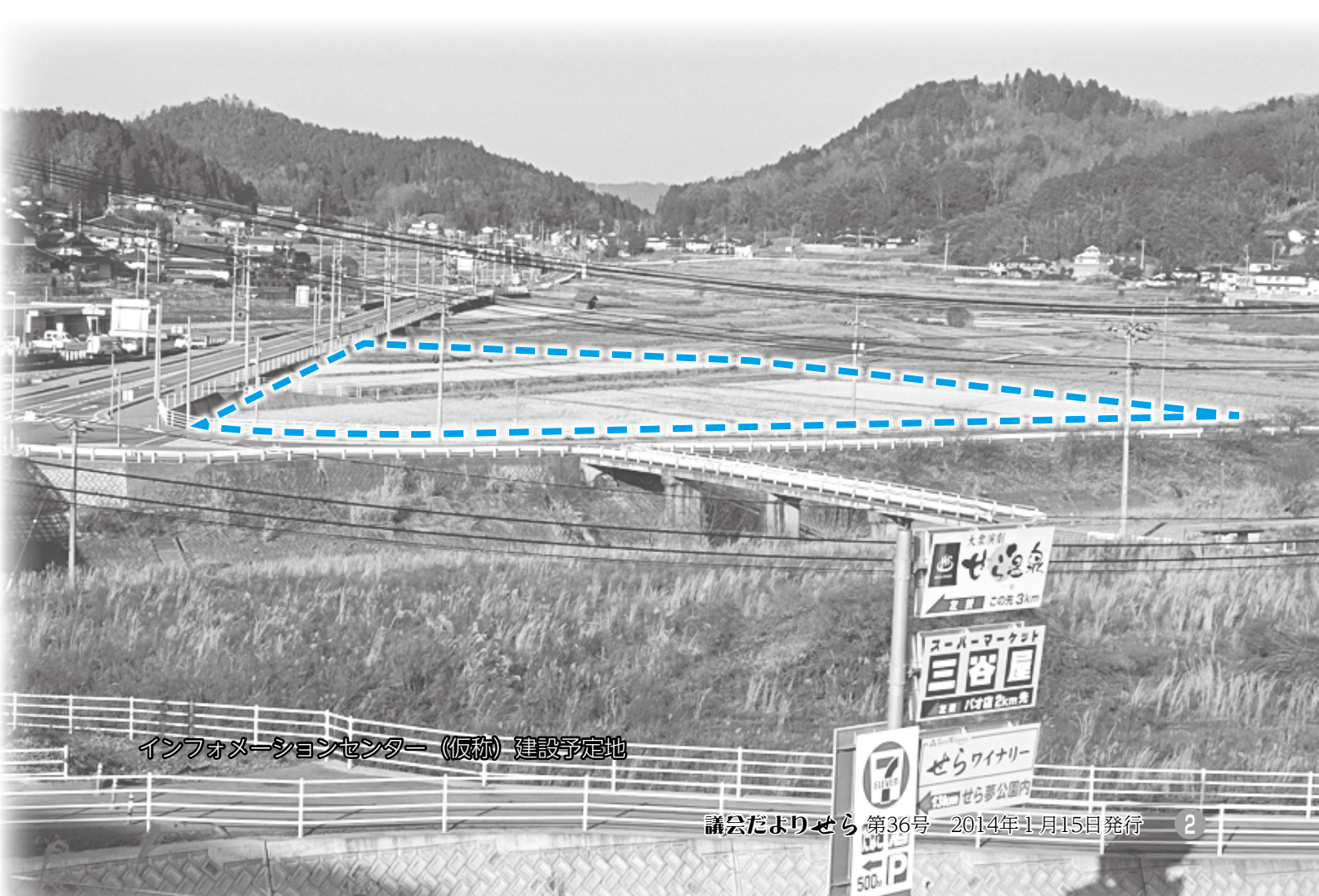
なお、指定管理期間は、いずれも平成26年4月1日から平成31年3月31日までである。

○せら農業公園（ファーマーズマーケットを除く）世羅町権現山農村公園・県立せら県民公園
指定管理者（株）セラアグリパーク

○せら農業公園ファーマーズマーケット
指定管理者 協同組合 夢高原市場

○甲山総合交流ターミナル
指定管理者 協同組合 甲山いきいき村

○世羅町ふれあい市場（大見ふれあい市場）
指定管理者 大見ふれあい市場企業組合



インフォメーションセンター（仮称）建設予定地

補正予算 インフォメーションセンター(仮称)

○世羅町ふれあい市場
(西大田ふれあい市場)
指定管理者 四季園に
しおた企業組合

○世羅町ふれあい市場
(せらにし特産品セン
ター)
指定管理者 特産品セ
ンターかめりあ



西大田ふれあい市場

ふるさと夢基金を延長

ふるさと夢基金は、各地域の人づくり、地域づくりのため助成する事業で、平成21年度から5年間の予定で実施し今年度で終了する予定であった。

今後、引き続き基金を利用したいとの希望があり、資金残額もある、1年間事業を延長することを全員賛成で可決した。



年頭のごあいさつ

議長 中村 幸雄

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方には、ご壮健にて輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。平素は町議会運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

第2次安倍内閣の下、さまざまな経済政策がなされ「アベノミクス」という言葉まで生まれました。一方ではTPPへの参加交渉が大詰めを迎えています。農業を中心に発展してきたわが町にとって、TPP交渉が与える影響はあまりにも大きく、交渉の行方を注視していくことが必要です。

昨年発表された流行語大賞の一つに「お・も・て・な・し」が選ばれました。わが町においてもこの「おもてなし」が非常に重要になってくる年であると考えます。

尾道松江線の全線開通を間近に控え、開通に向けさまざまな町の取り組みが予定されています。交流人口の拡大と町の活性化を目指して世羅をアピールし、活力につなげるた

めにも、「おもてなし」の気持ちが大切であります。

昨年末には世羅高校陸上競技部が都大路へアベック出場を果たしてくれました。女子は堂々の12位、また男子は優勝こそ逃しましたが、懸命に走ってくれ勇氣と感動そして希望を私たちに与えてくれました。優勝を目指して果敢に挑戦してくれた選手たちに大いなるエールを送ります。また、この悔しさは必ず今年につながるものと確信するところです。

地方自治体においては、地方分権改革の進展に伴って、自己決定、自己責任の範囲が拡大し、今後議会が担う役割は一層重要となってきました。議会の果たすべき役割を再認識し、町民の皆様の福祉の向上のため、議会活動の充実に向けて専心努力して参りますので、皆様方の格別のご理解とご協力をお願いいたします。

この一年が町民の皆様にとって幸福な年でありますよう、心からご祈念申し上げます。

報告します 委員会は今

総務文教常任委員会

せら教育の日成果と課題は

現地調査

工事の進捗状況調査

- 1 津久志自治センター
- 2 西大田自治センター
- 3 寺町公園
- 4 防災格納庫

現在、工事は順調に進んでいるが、震災・消費税率アップの影響により資材の入手や作業員の確保が懸念されている。

要望書の現地調査

甲山中学校グラウンドの排水整備

グラウンド面に水がうっすら浮き出ており、暗渠排水施設が十分機能していないと思われる。

せら教育の日・教育月間

せら教育の日関連

「輝く、せらの学校文化発表会」

○ステージ発表の部

町内各小中学校の児童生徒により日ごろの活動成果を発表するとともに、他校の学校文化に触れ、心豊かな表現力を育成した。

次年度からは、ホールの収容人数などを考慮し、より多くの町民の方に観賞していただくようにしたい。

○展示の部

町内2か所において児童生徒の創作及び学習意欲の向上を図る目的で、郡美展推奨作品、図書ポップ入賞作

品、世羅高校作品などを展示した。今後は、作品の展示方法にも工夫するなどし、より鑑賞しやすくしたい。

せら教育月間関連

演劇、文化芸術体験、文化講演会、その他関連団体の事業など7種類の催しを実施し、文化芸能の体験学習を行った。

人事評価と

職場の活性化

職員が各人成果目標を設定するとともに、その達成度を測ることにより、能力開発を行う評価制度で、サービス度、財政、業務目標、人材育成の4点で目標設定し評価する。評価結果は、現時点では人

材育成が主眼である。

介護保険制度改正の動向

平成26年2月介護保険関係の法令が改正され、要支援1、2は運営母体が国から各市町

に移管される。住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」として実現することになるが、現時点では、詳細は不明である。



津久志自治センター現地調査



東自治センター・宿泊施設 現地調査

産業建設常任委員会

インフォメーションセンター (仮称)の有効活用を

現地調査

○世羅町上下水道課東神崎地区の土場の使用許可について。
○簡易水道敷設の陳情。(長田地区)
○町道局三步市線の改良を求める要望書。(下津田) 3件の陳情申請に伴う現地を確認した。

○東自治センター宿泊施設改築工事
○国道432号の下水道工事
2件の進捗状況を調査した。

事務調査

○米の作況及び米価と来年度の減反について

国の作況指数は全国が102、県は100で米価も低下した。国の来年度の生産目標は減少し町への影響も大きい。日本型直接支払制度の創設を含め国の農業政策は大きく変わっていく。

○公共下水道事業の状況
①現在の加入率は約54%
②次年度の事業計画
米町地区と国道432号の工事予定
③一期工事完了見通し
当初より補助金割当が少なく(震災関連)、工事完了は平成33年度見込み

○一般廃棄物収集運搬業務について
経過説明を受け議論の結果、業務の特殊性を考慮し現行維持との結論となる。

○インフォメーションセンター(仮称)管理運営と収支計画について
今回も基本計画の説明に終始し、運営面など不確定部分が多く、引き続き詳細な説明を求める。

議会改革調査特別委員会

今後の調査項目

議会基本条例の制定

世羅町議会においても議会改革の一環として、議員の資質、役割、行動などあらゆる原理原則を定めた議会基本条例の制定が喫緊の課題である。議会基本条例制定は、住民と議員にとって大変重要な問題であるので、その目的・輪郭などを全委員で議論して結論を出すことにした。

政務活動費のあり方

議員が活動するには、能力向上を図ること、情報を収集することが必要であり、そのために参考書の購入、研修会への参加及び会場への交通費など経費を要する。その実費弁

償として政務活動費の支給が認められている。

本委員会においても、議員の資質向上を図り議会活動の活性化のため活動費を検討する必要があるとの意見が出た。

しかし、拙速に結論を出すことなくあらゆる資料を収集するなどし、平成26年9月を目途に調査することにした。



視察研修報告

総務文教常任委員会

平成25年11月21・22日に、熊本県山鹿市と佐賀県武雄市を視察した。

山鹿市

山鹿市では、平成20年女性職員の発案により独自のブログ※1「山鹿ゆらり七変化」を立ち上げ、市の魅力などの情報を発信している。

同市は、平成17年1市4町が合併して現在の山鹿市が誕生した。5年が経過したとき、市の魅力などを市内外に経費をかけず、比較的自由に発信できるブログの活用を決めた。

武雄市 広報にフェイスブックを採用

これまでに経験したことを活かし、イベント・物産・農業・教育・子育てなどあらゆるジャンルの情報を女性の

ならではの目線で発信している。

特に、新聞や広報誌などで報道されない市の小さな話題などを市民に提供している。市外からも山鹿市を訪れる人が増え、市民への情報提供のほか、入り込み客の増加にも貢献している。

武雄市

武雄市は、以前からブログなどを活用して市の情報発信をしていたが、平成23年8月からは、公式ホームページを完全フェイスブック※2化し、その担当課としてフェイスブック・シテイー課を設置した。フェイスブックの特性である実名制、オープン（誰でも見れる）、拡張性（多様な外部サービス）を活かし、全職員にアカウント※3を取得させたうえ、市

民からの苦情・意見・提案を受け、即座に対応する体制を整えた。水害などの情報もリアルタイムで市民に提供することも可能である。この結果、武雄市は、「共感」で発信し、「つながる」武雄市を目指すとのことであった。

産業建設常任委員会

鳥取県湯梨浜町

10月28日
湯梨浜町役場

○農地の集積について
認定農家114戸を中心 にいちご、梨、ブドウ、スイカ、メロンの一大産地となっている。

○鳥獣被害状況
最近、梨畑へのイノシシ被害が増加しており、対策にも力を入れている。

○耕作放棄地対策



道の駅 清流茶屋かわはら

鳥取市、倉吉市に近いので宅地化がすすみ耕作放棄地は減少傾向。

○道の駅視察見学の駅「はわい」
国交省の支援と指導で建設された。雪室・野菜などの産直市が充実。コンビニの入店で家賃収入を維持管理費に充当。町の持ち出しは年間約300万円である。

鳥取市河原町
10月29日

○道の駅視察見学
「清流茶屋 かわはら」運営主体は、指定管理の株式会社。若い感性と女性スタッフの企画力を生かし絶え間ないイベントを実施。トレットパーパーホルダーの施錠など、きめ細かい防犯対策が必要とのことであった。また地元産品の販売などで町や町民が潤い、つくってよかったと思える施設を整備するべきと意見をいただいた。

※1 ブログ=インターネットを活用した日記形式のウェブサイト
※2 フェイスブック= SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の一つ。
※3 アカウント=フェイスブックなどを見るための権利

動き始めた インフォメーションセンター

(仮称)

補正予算審査
特別委員会設置



インフォメーションセンター (仮称)
完成予想図

今回の補正予算にインフォメーションセンター(仮称)土地購入費が初めて関連予算として計上されたが、これまでの詳細計画の説明が不十分であると、補正予算審査特別委員会を設置した。

その中で具体的な管理運営・収支計画など質疑応答を行ない、同委員会で審議した結果、付帯意見を付して賛成多数で可決した。

反対

矢山 武 議員

討
論

賛成

福田 義人 議員

町の活性化と住民の生活に潤いを与えるには、節約だけでは達成できない。

地権者の方には、先祖伝来の大切な土地を町の活性化のため提供されたことに心から敬意を表したい。

今回の補正予算は一つの通過点で、インフォメーションセンター(仮称)が住民や農家の方々に潤いをもたらすことが必要だ。付帯意見のように、どっしり構えて道筋を明らかにし、執行者・住民・議会が一緒になって前進することを願って賛成討論とする。

付帯意見

- 1 明確な執行体制を確立すること。
- 2 住民に対しては十分な事業の説明責任を果たすこと。

請願・陳情を審査しました

12月定例会において16件の陳情を審査し、10件を採択しました。

番 号	件 名	請願・陳情者	委員会の意見	審査結果
陳情 第15号	世羅町上下水道課 東神崎地内の土場の使用許可について	米町長寿会 会長 林 忠之 外4名	今後、町が利用する際、支障がない限り使用することは可能である。	採 択
陳情 第16号	2014年度地方財政の確立に関する要請	自治労世羅町職員労働組合 執行委員長 山口 徹 広島県教職員組合世羅支部 書記長 神田 明	陳情の趣旨は、妥当と考える。	採 択
陳情 第17号	TPP 断固反対に関する緊急要請	尾道市農業協同組合 代表理事組合長 上野 泉	米価の下落など農家に与える影響が大きいため、断固反対すべき。	採 択
陳情 第18号	甲山中学校グラウンド排水の整備に関する要望書	甲山中学校 PTA 会長 岡田 智美 外9名	陳情の趣旨は、妥当と考える。	採 択
陳情 第19号	町道局三步市線の改良を求める要望書	平野 輝雄 外40名	通行の安全のため、危険箇所は改良すべきである。	採 択
陳情 第20号	介護保険料等の負担軽減に係る要望書	世羅町民生委員児童委員協議会 会長 泉谷 貢	陳情の趣旨は、妥当と考える。	採 択
陳情 第21号	オスプレイの配備撤回、低空飛行訓練の中止を求める陳情書	軍事費を削って、くらしと福祉、教育費の充実を！ 国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	沖縄基地の負担軽減に協力する必要がある。	不採択
陳情 第22号	夜勤改善と大幅増員で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	軍事費を削って、くらしと福祉、教育費の充実を！ 国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	趣旨は妥当。ただし、勤務時間を1日8時間、週40時間以内に修正	採 択
陳情 第23号	保育制度の解体を許さず、保育の公的保障の拡充を求める陳情書	軍事費を削って、くらしと福祉、教育費の充実を！ 国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	公的保育制度にこだわらず、色々な可能性をもって保育施設を考えるべき。	不採択
陳情 第24号	生活保護基準の引き下げに反対し要保護者の生存権擁護を求める陳情書	軍事費を削って、くらしと福祉、教育費の充実を！ 国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	一般世帯の低所得者や年金生活者との整合性が取れない。	不採択
陳情 第25号	公契約条例制定にむけての陳情書	軍事費を削って、くらしと福祉、教育費の充実を！ 国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	現在の情勢からすると、条例制定の必要性はない。	不採択
陳情 第26号	「高校無償化」への所得制限導入に反対し、「教育費無償化」の前進を求める陳情書	軍事費を削って、くらしと福祉、教育費の充実を！ 国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	全員無償にすれば国費の負担が増大する。所得制限導入すべき。	不採択
陳情 第27号	消費税の軽減税率適用など消費税に向けた生活支援策に関する要望	中国新聞東部中国会 会長 吾川 茂喜 外7名	陳情の趣旨は、妥当と考える。	採 択
陳情 第28号	簡易水道敷設の陳情	代表 日立 正治 外28名	飲料水が不足しているので、早期に実現すべきである。	採 択
陳情 第29号	町章使用について	坂井 祝一 外5名	町章の使用承認基準には、適合している。ただし、使用の部位は、考慮されたい。	不採択
陳情 第30号	一般廃棄物収集運搬委託業務の現行制度変更に対する要望書	世羅町ごみ収集運搬委託業者連絡会 代表 野村 秀夫 外4社	陳情の趣旨は、妥当と考える。	採 択

提出議案等の採決結果

(賛否の分かれたもの)

第4回定例会 (平成25年12月)

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案	採決	田谷	盛谷	岡田	米重	仲行	矢山	福田義	福田豪	下原	新原	生田	徳光	仙光
議案第98号	平成25年度一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	平成25年度上水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第106号	平成25年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
陳情第21号	オスプレイの配備撤回、低空飛行訓練の中止を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	●	●	●
陳情第23号	保育制度の解体を許さず、保育の公的保障の拡充を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	●	●
陳情第24号	生活保護基準の引き下げに反対し要保護者の生存権擁護を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●
陳情第25号	公契約条例制定にむけての陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●
陳情第26号	「高校無償化」への所得制限導入に反対し、「教育費無償化」の前進を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●
陳情第29号	町章使用について	不採択	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●
発議第11号	新聞・書籍等への軽減税率適用を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

(全員一致で決定したもの)

議案番号	議案	採決
報告11号	損害賠償の額の決定	報告
議案第86号	工事請負契約の変更(寺町公園)	可決
議案第87号	せら農業公園、指定管理者の選定	可決
議案第88号	農業公園ファーマーズマーケット指定管理者の選定	可決
議案第89号	甲山総合交流ターミナルの指定管理者の選定	可決
議案第90号	大見ふれあい市場の指定管理者の選定	可決
議案第91号	西大田ふれあい市場の指定管理者の選定	可決
議案第92号	せらにし特産品センターの指定管理者の選定	可決
議案第93号	ふるさと夢基金条例の一部を改正する条例	可決
議案第94号	福祉事務所設置条例の一部を改正する条例	可決
議案第95号	分担金等の延滞金徴収条例の一部を改正する条例	可決
議案第96号	町営住宅設置、整備及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第97号	公共下水道受益者負担金・分担金に関する条例の一部改正	可決
議案第99号	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第100号	後期高齢者医療制度特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第101号	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第102号	介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第103号	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第105号	簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決

議案番号	議案	採決
陳情第15号	世羅町上下水道課 東神崎の土場の使用許可について	採択
陳情第16号	2014年度地方財政の確立に関する要請	採択
陳情第17号	T P P断固反対に関する緊急要請	採択
陳情第18号	甲山中学校グラウンド排水の整備に関する要望書	採択
陳情第19号	町道局三歩市線の改良を求める要望書	採択
陳情第20号	介護保険料等の負担軽減に係る要望書	採択
陳情第22号	夜勤改善と増員で安全・安心の医療介護を求める陳情書	採択
陳情第27号	消費税の軽減税率適用等生活支援策に関する要望書	採択
陳情第28号	簡易水道敷設の陳情	採択
陳情第30号	一般廃棄物収集委託現行制度変更に対する要望書	採択
発議第8号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出	可決
発議第9号	T P Pに断固反対する意見書提出	可決
発議第10号	夜勤改善と増員で安全・安心の医療・介護を求める意見書	可決

— お詫びと訂正 —

前号(No.35)9ページ採決結果の中で、議案第67号「後期高齢者医療制度特別会計歳入歳出決算認定」福田義人議員の採決●は○、議案第70号「農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定」矢山武議員の採決●は○でした。お詫びし、訂正いたします。

町政の課題

ただ
13議員35問を質す

ページ	質問者	質問事項
11	盛谷 光明 議員	1. 町道の法面管理について 2. 健康マイレージの取り組みについて 3. 浄化槽維持管理補助金申請について
12	仙光 保喜 議員	1. 世羅町の農業の今後の方向は 2. 耐震診断の結果を踏まえての自治センターの整備は
13	徳光 義昭 議員	1. 町長就任一年の評価と今後の課題は 2. 企業誘致を促す工業「産業」団地の整備を
14	新原 浩 議員	1. 地域と学校支援の体制づくりについて 2. 25年度上半期各課の事業に対する進捗状況について
15	岡田 武士 議員	1. インフォメーションセンター（仮称）について 2. その後どうなった9月の一般質問は 3. 世羅町章の取り扱いは
16	福田 義人 議員	1. 甲山中学校グラウンド排水処理施設の改良は 2. 合併10周年を迎える町の活性化の政策は 3. 仮称 インフォメーションセンターの進捗状況は
17	田谷 幸奏 議員	1. 奥田町政 1年の回顧と今後の展望について 2. JR福塩線備後三川駅の利活用策について 3. 災害に強いまちづくりについて
18	矢山 武 議員	1. 道徳の教科化、少人数学級、正規職員化などの取り組みは 2. TPPからの撤退と減反廃止と今後の農業は 3. 国保の広域化をやめて、障害者福祉および介護保険の充実を
19	仲行 洋 議員	1. 若者への支援を 2. 野積み堆肥その後の経過は 3. 平成26年度予算は
20	福田 豪 議員	1. 「まもる」を問う。環境 2. 「まもる」を問う。産業 3. 「まもる」を問う。生きるということ
21	米重 典子 議員	1. 子供の携帯電話・インターネットをめぐる問題について 2. 世羅町におけるDV（ドメスティックバイオレンス）対策は 3. 町立図書館の運営状況について
22	下原 嘉雄 議員	1. 里山環境美化政策について 2. 河川敷・堤防並びに歩道整備について
23	生田 智康 議員	1. ベッドタウン構想は 2. 「香りのコンサルタント」池尻昭爾氏の講演と町づくりについて 3. どうなった 宇津戸臭気問題は？



盛谷 光明 議員

町道の法面管理は

答 町で対応することも検討

盛谷

①町道の法面管理は、高齢化により草刈処理ができなくなってきた。今後どのように対処するか。
②草刈り作業の軽減対策にセンチピードグラス(むかで芝)を植え付け対応したらどうか。



ムカデ芝植栽で草刈り作業軽減 大和町福田

町長

①町道草刈り作業交付金・草刈り燃料支給制度を多くの団体に利用いただいている。
通行の安全確保のため状況によっては、町において対応することも検討課題である。
②他の自治体の導入状況なども参考のうえ、センチピードグラスの導入を検討したい。

健康マイレージの取り組みは

答 今後の検討課題に

盛谷

健康診断の受診やスポーツ活動への参加でポイントを貯めると、特典を利用できる健康マイレージに取り組んではどうか。

町長

「いきいきと安心して暮らせる町」の実現に、健康づくりは欠かせないものであり、健康マイレージの導入も検討課題にしたい。

浄化槽管理補助申請の簡略化を

答 次年度以降検討する

町長

浄化槽の設置は2331基で対象者1941件の方に通知をしている。新設した補助制度のため、添付を要する書類が必要であり、対象者の方から簡略化の要望が多くある。次年度以降は簡略な申請になるよう検討している。

盛谷

補助金対象者は何件あるか、申請手続きを簡単にできないのか。

町の農業の今後の方向は

答町独自の支援策も充実させたい



仙光 保喜 議員

仙光

水稲の生産調整は5年後に廃止となる。減反補助金は半額の7500円となり5年後に無くなる。価格変動補填も即廃止。新しく日本型直接支払^{※1}と転作補助金になり、全体的に補助金は大きく減額となる。その上、TPPの行方も決まらず不安材料が山積みの状況である。法人も補助金で成り立っている。地形的に大規模化の出来ない世羅町はどのように取り組んでいくのか。

町長

国が示した農家の平均所得は、13%増になる見込みで、町の基幹産業である農業を持続するには、担い手の育成と経営強化の環境整備がこれまでに以上に必要になる。育成が定まっていけない地域では、「人・農地プラン」の作成により担い手を明確にし、農地集積支援が必要と考える。水稲の作付は主食用米中心から飼料米に転換。また、キャベツ、アスパラなどの園芸品目への転換を支援し、収益性の向上による所得増に繋げたい。

収益力向上、新規就農者や後継者の育成・確保など、国や県の支援策を積極的に活用し、町独自の支援策も充実させて持続可能な農業の確立に努める。

耐震診断と自治センターの整備は

答本年度中に整備の方向性を



耐震診断に伴う整備計画は 小国自治センター

仙光

学校統合に伴う6地区の自治センターは移転や改築工事などが進んでいる。残る7地区のうち黒川・山福田を除く自治センターの耐震診断結果に伴う自治センターの整備計画はどうか。

町長

耐震診断は鉄筋コンクリート造りの5施設を対象に行った。その結果3施設に耐震補強が必要で、大規模修繕が必要とされたのが1施設。

自治センターは、地域の拠点施設であり災害時には避難場所となるため、耐震性能に高い安全性が求められる。木造の2施設を含め整備の方向性を本年度中を目途にまとめ、地域との協議を進める。

※1 日本型直接支払＝農林水産省が平成26年度に創設予定の制度
農業のもつ国土保全などの多面的機能の発揮などを支援される見込み

町長就任1年の課題は

答 課題もあるが一定の評価は得られた



徳光 義昭 議員

徳光

- ① 中山間8第1年の評価と課題は。
- ② 健康増進と医療費減の施策は。
- ③ 今後の課題と運営方針は。



次世代に襷を (中国実業団駅伝3区中継所)

町長

- ① 3世代同居支援の住宅リフォーム、浄化槽の維持管理費補助事業などが達成できた。尾道松江線全線開通を控え定住促進、観光客誘致を図る環境整備など課題もあるが、一定の評価は得られた。
- ② 「健康いきいき大作戦」で、町民が介護を受けることなく生活できる健康寿命を延ばすことを目的に取り組んでいる。がん検診の受診率向上、特定健康指導や高齢者感染予防接種により、発症や重症化の予防を図っている。また「ジェネリック医薬品」の啓発推進をしている。
- ③ 平成26年度は、町の合併10周年事業と尾道松江線全線開通に伴い、立地の良さを活かし、定住促進や観光客誘致を図る環境整備の推進を当面の課題として取り組むたい。

企業誘致を促す工業団地の整備を

答 今後の課題で十分検討したい

徳光

- ① 尾道松江線の交通便利性の向上を見据えた工業団地の整備を。
- ② 尾道松江線を追い風に尾道市など他市町に県工業団地が整備されている。町にも団地を整備するため、町と議会が一緒に国県に要望したい。

町長

- ① 当面は企業の要望があれば条件に合った未利用地を紹介し、活用可能な条件を迅速に整備し誘致したい。また町内企業には引き続き活動していただき、町内で起業される方を支援し、地域に密着した企業支援も重要と考えている。
 - ② 企業が何を求めているか情報を早く察知しそれに見合った誘致をしたい。
- 尾道松江線沿線にある町として産業振興の仲間入りをしたいと言ってきたが、県の財政状況もあり時間もかかる。
- 今後は執行者と議会が一緒に国県に「工業団地の整備」を要望したい。

地域と学校支援の体制づくりは

答 学校支援地域本部事業で実施



新原 浩 議員

新原

学校を支援する体制（小・中学校教育協議会）を推進するうえで地域コーディネーターは、学校とボランティア、自治センター間の連携を行っていく重要な存在ではないか。

教育長

地域で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教職員だけでなく地域の方々が子どもと向き合う時間をつくってもらうことを目的に、学校支援地域本部事業を実施し、今後子どもを育てていく取り組みを一緒に進めていく。



花いっぱい運動

平成 25 年度上半期の事業進捗状況は

答 年度内完了に向けて事業を進めている

新原

平成24年度一般会計決算では自主財源比率は23%で約8割が依存財源である。

今後収入は伸びにくい状況下で、社会保障の支出が増え財政運営はさらに厳しい。
今年度の事業進捗状況と課題と対策については。

町長

上半期で執行予定の事業契約は完了した。総契約額7億2875万円。平成25年度当初予算51事業、事業費12億4618万円の内11月末現在で9億8091万円、執行率約80%である。今後の課題は、補助事業及び助成事業において申請利用者数が予定に達していないので、周知方法の改善をして、多くの方々に利用していただける環境づくりが必要と考える。

インフォメーションセンター(仮称)について

答 関係機関と協議を進めている

町長
世羅PR館として町内の観光施設や飲食店・産直市などを効果的に案内する情報発信機能のみならず、物販や飲食などの事業を展開できる施設を考えている。7月の推進部会以降、国・県と施設整備など協議を進めている。運営は指定管理者制度を前提に法人化と運営方法を検討している。

岡田

基本構想・道の駅はどこまで進んだか。運営と維持管理を観光協会へ委託しようとしているが。



岡田 武士 議員

どうなった街路灯と歩道整備は

岡田

9月に一般質問した街路灯と歩道整備要望はその後どうなったか。

町長

歩道整備は道路管理者の県東部建設事務所から他の要望箇所も含め優先順位により対応していると回答された。街路灯は地元企業と協議し、町に管理移管できるよう進めている。

世羅町章の取り扱い
答 使用基準を満たしていると判断し承認した

岡田

町民の町章に対する想いを、町長に聞く。また、プロレスラー世羅りささんのリングパンツの町章の使用申請はどのように許可されたか。決定的判断は「使用承認取扱要綱」の「自己の信用を高めるための使用」に当たるのではないか。売名行為と受け止める。

町長

想いは様々であるが、公募された町章は鋭意審議決定された大切な町の象徴の一つと受け止めている。申請は所属のプロレス団体から出され、使用基準を満たしていると判断し承認した。郷土愛をもってリングで闘う姿は町のイメージアップにもつながると期待した。現在は使用について考慮願っている。



甲山中学校グラウンド排水改良を

答 効果ある排水対策を検討



福田 義人 議員

福田義人

9月8日に行われた世羅・甲山中学校体育祭は、同じ気象条件にも関わらず甲山中学校は中止された。排水施設が整っていれば、開催が可能ではなかったか。

教育長

平成21年度に排水処理工事をして以前より改善したと認識しているが、同校の校庭の排水は、新山からの地下水の影響を受けており、排水状況が悪い。状況を改善するため、追加の排水対策を検討する。

町長

前回の工事で課題があったと聞いた。関係課と検討する。

合併10周年を迎える町の活性化策は

答 少子高齢化・

雇用対策を進める

福田義人

次年度は10周年の節目。政策はどのように。
①町づくりの基幹政策は。②産業振興と雇用の促進は。③中山間農業の振興政策は。④子育て定住対策は。⑤観光と地域振興は。⑥役所機能の活性化は。

町長

駅伝の襷たすきのように新たな町に襷を繋ぐのが私の務め。尾道松江線的全線開通を機に産業振興や定住対策、インフォメーションセンター（仮称）建設を進め、観光客誘致による交流人口の増大を図る。
農産物のブランド強化と販売促進を図り「希望の持てる町」を築く。
臨時職員の給与の改善を検討している。

インフォメーションセンター(仮称)の進捗状況は

答 平成 27 年 4 月オープンに向け調整中

福田義人

①施設管理者はどうなったか。
②コスト削減に、東上原地区まで下水道区域の拡張を行っては。
③インフォメーション以外の施設活用及び運用はどのようになっているか。
④いつオープンの予定か。

町長

①指定管理を前提に観光協会の法人化及び運営計画を検討している。
②下水の計画水量は1000トン。東上原地区に拡張したら施設能力を超え、新施設が必要になる。
③世羅の食や特産品の魅力を伝える商品の提供。EVステーション、交流広場（市場）機能など検討している。
④平成27年4月を目標にしている。



インフォメーションセンター（仮称）建設予定地

奥田町政回顧と展望

答 早期執行に心掛ける

田谷

新聞報道の選挙公約達成度50%の真意はなにか。

この1年間の町務運営上の問題点と解決策及び今後新たに生じる課題と対策は。

町長

達成度50%の真意は、この1年間でやりたことの50%しか達成できなかったという意味であり、誤解を与える表現であった。

財政は依然として余裕はないが福祉、医療、教育、防災、住民自治といった事業で活力ある「世羅町」を構築することが求められている。また少子高齢化、過疎化の問題を抱え、来年度合併設計画及び過疎化計画の見直し、第2次長期総合計画の策定など10年先を見据えて計画的な町づくりに取り組む。



田谷 幸奏 議員

備後三川駅の利活用策は

答 開業記念行事の実施と増便要請の継続を

田谷

町の福塩線開業100周年記念事業の計画はあるのか。通勤通学者の利便を図るため運行本数の増便要望があるが、その対応策は。

町長

町も、地域の発展及び交通の確保に重要な役割を果たしている福塩線の存続を願っている。町も福塩線の活性化策として福塩線対策協議会（福山・府中・三次市）を中心に各種活動を行う予定である。増便は、JR西日本に対し協議会として改善要望し、今後も継続して行いたい。



福塩線備後三川駅 99 周年記念行事

児童生徒の通学路の安全対策は

答 あらゆる

安全策を

講じている

田谷

児童生徒が通学のため徒歩あるいは自転車で行く道路の安全対策（横断歩道・転落防止柵などの設置、歩車道及び道路法面の草刈り）はどうか。

教育長

毎年各小学校単位で、保護者などにより通学路の安全確認、危険箇所などについて、関係機関に要望書を提出し、改善を図っている。

道徳の教科化の動きとテスト教育は

答 教育の自主性・継続性・中立性を大事にする



矢山 武 議員

教育長

道徳教育は人間として生き方を育成するため、研修会、推進協議会で取り組んでいる。教育の自主性・継続性・中立性を大事にされなくてはならない。

町では小学校二年生以上に標準学力調査を実施し、テスト結果を指導の改善に活かしている。国県のテスト結果は、全国及び県平均以上の学力水準である。

矢山

点数をあおる教育の中で、道徳の教科化は問題である。本当の学力をつける教育が求められるが、テストのための教育や学校別学力調査は問題である。

町長

例外を堅持されることを望む。補助金の見直しで所得は増加すると言われ、認定農業者、集落法人化に取り組む。飼料用作物、園芸品目への転換を支援する。国県の支援を活用し町独自の支援も検討。人・農地プランを進める。



TPP 交渉から撤退を

矢山

主要5品目を守らず輸入枠の拡大を検討している。減反を止め、さらに米価が下がる。法人も大変になる。販売価格とコストの差を補填し、主食の需給調整に責任を持つべきである。本町の農業が大変な中、後継者育成に力を入れ集落を守るべきではないか。

TPP交渉からの撤退と今後の農政は

答 5品目の例外を望み

町独自の支援を

国保の広域化をやめ障害者福祉介護を守れ

答 改定されてもサービス確保に努める

矢山

国保の広域化は負担増となる。社会保険プログラム法案が成立し、自助、自立を進め前期高齢者の二割負担を始め、入院給食の保険をはずし、介護サービスの二割負担、要支援の介護保険からの切り離し、特養の介護3以上の入所など制限などが進む。障害者、介護サービスが受けられなくなる恐れがあるが。

町長

税額は上がるが、限度額の引き上げや低所得者への負担軽減が見込まれている。介護保険制度は改定されてもサービスの確保につとめる。障害者ニーズに応える支援に取り組む。



仲行 洋 議員

若者への支援策は

答 今後は起業家の育成支援も

仲行

町の活性化のため「定住人口」の増加を図ることは大切である。一ターソン・Uターソンの若者に対する支援策は。

町長

現在子育て家庭家賃補助、保育料半額補助、幼児、児童の医療費助成など各種支援制度で若者が定住しやすい環境整備を図っている。

農業では産業創造大学により、町外の新規就農希望者に対し研修を行っている。また、農業後継者育成確保事業、青年就農給付金事業など各種支援事業により、意欲のある若者の支援をしている。

平成26年度予算では起業家の育成支援に取り組む。

野積み堆肥の解決は

答 県と連携し早期撤去を求める

仲行

町全域に不法に集積されている野積み堆肥がある。撤去要望の経過と解決へ向けての取り組みは。

町長

下水処理汚泥などを排出した関係6市に撤去を求める要望書を提出したが、撤去は難しいとの回答を受けた。町はリバースに対し撤去を要請したが、県、広島市と裁判中であり、処分業の許可取り消しにより事業運営、経理的能力を失ったことを理由に撤去に応じない状況である。

県は対策会議を開き、排出業者に撤去の申し入れを行っており、リバースが応じない場合は裁判所に仮処分の申し立てを行う。町は県、排出業者と連携し、早期解決に向けて取り組む。

平成26年度予算は

答 合併10周年とインフォメー

ションセンター(仮称)

仲行

町長就任2度目の予算編成、基本方針と目玉となる施策は。

町長

町財政は、景気浮揚の恩恵は少なく、今後も厳しい状況が続くと予想され、一層の効率化を図る必要がある。事業の見直しを行い実効性を高める必要がある。予算編成では「中山間8策」の実現に向け、更に施策を充実させる必要がある。

重要施策は合併10周年記念事業とインフォメーションセンター(仮称)事業である。平成27年4月尾道松江線全線開通に合わせ建設、運営についても具体化していく。



町の活性化政策の強化を

環境を守る

答 住環境の安全安心に努める



福田 豪 議員

福田豪

県が実施している「生き物調査」を、町はどう考えるか。また迫りくる荒廃山林から、住環境をどう守るか。個々の責ばかりを問う時ではない、生活圏の保障は政治の責務、公共の福祉と考えるが。

町長

県の取り組みは、今後の対策に反映したい。手入れがされなくなった里山林で、野生生物の生息域と人里の境界がなくなりつつある。整備のあり様を検討する必要がある。現在の制度運用を点検し、住環境の安全安心に努める。

産業を守る

答 持続可能な農業の確立に努める

福田豪

農業を基幹産業と据える町では、農業の衰退は消費経済に影響し、町の衰退に直結しかねない。今回の国の農業政策の転換で町の将来をどう描くか。

町長

経済強化のための環境整備がこれまで以上に重要。集落での合意のもと農地の集積と経営の合理化を支援する。食用米中心の体系から転換を支援し、収益性や所得の向上につなげ、持続可能な農業の確立に努める。



持続可能な農業政策を

生きるということ

答 生活維持可能な地域づくりに努める

福田豪

「生きる」という望みが社会的、環境的ましてや政策的要因で左右されてはならない。政治は、どのような手法で、いつのタイミングで支えようとしているのか。

町長

個々の努力をはじめ、地域の支援、行政の支援など、一体的に機能することが求められる。地域の実情に合わせたサービス、住民ニーズに沿った運営が求められている。今回の制度改革を機に、生活維持可能な地域づくりに努める。



米重 典子 議員

子どもの携帯電話・インターネットをめぐる問題は

答 学校への持ち込みは禁止

教育長

校則により学校への持ち込みは禁止。家庭と連携して「持たない・持ち込まない」取り組みを進めている。トラブルまでには至らないまでも憂慮すべき状況にあり、今後もネット利用の制限やチェック方法を含め研修・啓発に取り組みたい。

米重

携帯電話やインターネットの利用実態はどうか、トラブル発生状況と子どもを守るための取り組みは。



ネット社会からこどもを守る

DV(ドメスティックバイオレンス)対策は

答 迅速に対応できる体制整備を

町長

町の窓口は福祉課と総務課に設置、相談件数は平成20年度から現在までで7件、被害者の意思を尊重し、配偶者暴力相談支援センター、警察などの関係機関と連携し対応している。また、啓発を通してDVに関する確かな理解と協力が得られるように努める。

米重

DVの相談窓口はどこに設置され、受付状況はどうか。また、被害発生時の支援体制は。

町立図書館の運営状況は

答 来館者数・貸し出し冊数・ともに減少傾向

米重

町内図書館の利用状況はどうか。また、魅力ある図書館づくりへの取り組みは。

教育長

利用者は全体に若干減少している。運営については社会教育委員会に報告し、意見を聞いている。年3〜4回の図書館支援事業を実施し、新しい本の魅力、活用方法を発信。ケーブルテレビによるPRも行っている。今後は、アンケート調査をもとにさらに魅力ある図書館運営をめざす。

里山環境美化に地籍調査は必須

答 完了まで 10 年はかかる



下原 嘉雄 議員

下原

所有者の高齢化、代わりで境界のわからない山が多い。地籍調査を早急に完了する必要があるが、担当体制はどうなのか。進捗状況は。

町長

地籍事務は4人で、現地調査は土改連に委託している。進捗率は92%。未調査区域も早期の完了を目指す。境界のわからない人も増加し確認作業に時間を要している。未調査は旧世羅の山林約1500ha。完了まで10年はかかる。

下原

視察した岡山県西栗倉村では、林業は心と心をつなぎ価値を見いだす「こころ産業」である。完了した地籍調査をもとにGPSで森林の樹勢の管理や林道整備などに活用している。わが町でも、夢と目標を共有すれば森を中心とした6次産業化も可能では。

町長

地籍調査は、補助が減少し自主財源では限界。里山の荒廃を止めるには、山の持ち主の参加も必要。新たな活用も提案していきたい。

河川敷・堤防並びに歩道整備は

答 歩道は中長期的整備計画で検討

下原

健康増進に、河川堤防をウォーキングロード、また河川敷を憩いの場、生物観察の場などに整備しては。また、県道中安田田打線の田打から中原境までは歩道がない。高齢者の電動カートの利用が増えて安全確保のため歩道の整備が必要。

町長

歩道は、中長期的な整備計画のもとで検討する。未改良区間の早期整備は県に要望を行っている。



安全確保のため歩道の整備を

下原

地域には歩道がなく交通量が多く安心して出られない。桃源郷だと思って故郷に帰ってきたが、大型車は多く、山野は荒れ、歩くところではない。「ふるさと」は遠きにある。中心部が活性化すると同様に周辺地域も桃源郷に近づけて欲しいと思うが。

町長

夢みて帰ったところが思いのほか不便なところであったかもしれない。歩道設置や、山、川それぞれ整備すべきところはある。自然を活かした故郷をつくっていききたい。ウォーキングには安全な場所の確保は必要。また、町内の名所を巡り健康づくりにウォーキングを取り入れ楽しんでいただきたい。

ベッドタウン構想は

答 定住促進は重要な施策



生田 智康 議員



ベッドタウン構想の推進を

生田

町の人口は減少している。冷静かつ客観的に見ると悪いところばかりではない。Ｕターン・Ｉターン者の定住により人口増を考える必要があるが。

町長

尾道道の開通で福山市、尾道市などが通勤可能圏になった。災害はいつどこで発生するかわからないが、自然災害の少ない地域である。
犯罪発生件数は平成24年度65件と平成14年度ピーク時と比して減少している。引き続き安全安心な町になるよう努めたい。
平成21年度空き家バンク設立以来物件契約数は累計62件、契約世帯総数は130人である。
新規定住者奨励金事業、住宅リフォーム補助事業、保育料等半額補助事業など各種支援制度により、定住施策の充実を図りたい。

どうなった宇津戸臭気問題は

答 今後とも地元対策委員会、事業者とともに臭気問題の改善に努めたい

生田

宇津戸臭気問題はすでに18年経過した。一般質問を繰り返してきているが進展はあったか。

町長

9月末に実施した測定数値は30という基本数値の2倍が出た。11月末の実施では10未満であった。引き続き臭気防止に繋がるよう努力したい。

香りの町づくりの推進を

答 健康いきいき大作戦も合わせた町づくりを

生田

池尻昭爾氏の夢ある町づくりの講演を聞いた。来年度は合併10周年でもあり元気な町にしたい。町としてどのように取り組むか。

町長

「日本一躍動する町世羅く五感マーケティング推進でまちおこし」と題する講演であった。町は、合併10周年を記念し共通のキャッチフレーズを作り今後のまちづくりの指針としたい。また、「健康いきいき大作戦」をさらに充実させるため、10周年記念行事の中で、講演の提案を活かす取り組みができればと考えている。

元気な人紹介



お茶を飲み ゆつくり庭で過ごすのが夢

世羅町伊尾 大原 学 さん

大原さんは、航空自衛隊に36年間勤務され定年退職後伊尾にもどられ、尾道市の民間会社勤務する傍ら、畑にバラなど植えコソコソとガーデニングを続けられた。庭に咲いた花を眺めながらゆつくりコーヒーを飲むととても気持ちが良いと思うようになっていた。

時を同じくして、向島で薔薇栽培をしていた方の園内にあったログハウス2棟を格安で譲っていただき、現在の場所に移築したのを機に、平成23年5月3日「ガーデニングカフェ・イオ」をオープンされた。

最初数本だったバラも八十数種を超えた。桜の花が咲く頃には、高齢の父母も近所の人を招いて花見をするようになった。

7年間の勤務を終え、その後造園技能士、庭園管理士やローズコンシェルジュ、ハーブコーディネーターなどの資格を取得。平成20年には日本園芸協会主催のガーデニングコンテストで英国大使館賞を受賞された。

ガーデニングカフェをオープン以降も花や花木が増え、野生のヤマガラがログハウスに来るようになった。ここの庭はバラの時期が最高と話される大原さん。今は口コミで

広島市内、廿日市、岡山市、倉敷市などからリピーターも多いそうだ。インタビュースタッフも飛んできたヤマガラが大原さんの手のひらで餌を食べていた。

営業は本金を除き10時から16時。冬期の1月から2月までは樹木の剪定・庭のリニューアル作業のため休業される。

また新しい春が来ます。ガーデニング・庭造りが好きな方と一緒に語りあって、ゆつくり過ごすのが好き。今年は、グループの方にピザ釜を使った手作り体験などを考えている。

ガーデニングの気持ち良さ、シビレ癒される。庭が好き、おしゃべりが好き、これからも仲間と交流を広げたいと、夢を語られた。

福田 義人
田谷 幸奏



表紙紹介



年末交通安全
総運動のツリー
点灯式がショッ
ピングモールパ
オで12月6日に
開催されました。

この写真は、

町内保育所の園児で結成されたハローシグナルの皆さんが、3組の白で赤青黄色のお餅を元気につきました。出来上がったお餅は来店された皆様や通行中のドライバーにお配りし、交通安全を呼びかけました。

編集後記

一夜明けると白銀の世羅台地、寒さが一段と身にしみる季節となりました。体調などを崩されていないでしょうか。平成25年はインフォメーションセンター（仮称）で終始した年でしたが、本当につくってよかったと言える施設であってほしいと思います。

定例議会も改選以来5回目が終わりました。議長を除く13人の議員が一般質問に立つことは他町には例のないそうだが、今年は合併10周年、世羅町に住んでいてよかったと言ってもらえるよう、自己研鑽を重ねてまいります。

（岡田武士）

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は3月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長／下原 嘉雄
副委員長／福田 義人
委員／田谷 幸奏・岡田 武士
米重 典子・新原 浩

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。